

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第41期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	ぴあ株式会社
【英訳名】	PIA CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 矢内 廣
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区東一丁目2番20号
【電話番号】	03（5774）5292
【事務連絡者氏名】	取締役主計担当 長島 靖弘
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区東一丁目2番20号
【電話番号】	03（5774）5292
【事務連絡者氏名】	取締役主計担当 長島 靖弘
【縦覧に供する場所】	株式会社 東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第40期 第2四半期連結 累計期間	第41期 第2四半期連結 累計期間	第40期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	52,923,680	64,120,612	111,950,399
経常利益又は経常損失() (千円)	335,307	540,747	350,238
四半期(当期)純利益又は四半期純 損失()(千円)	351,307	386,727	382,622
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	348,127	394,733	390,234
純資産額(千円)	3,602,362	4,668,234	4,340,723
総資産額(千円)	25,794,704	28,103,451	36,484,746
1株当たり四半期(当期)純利益金 額又は1株当たり四半期純損失金 額()(円)	24.97	27.49	27.19
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	13.8	16.4	11.8
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	3,437,936	6,180,909	3,892,321
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	179,946	248,893	444,140
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	73,536	477,283	324,015
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	12,311,834	12,076,549	18,983,045

回次	第40期 第2四半期連結 会計期間	第41期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 () (円)	15.27	0.30

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第41期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
第40期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
第40期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和などにより企業収益は改善し、個人消費も持ち直し傾向にあるなど景気は緩やかに回復しつつあり、国内レジャー・エンタテインメント市場におきましても、底堅く推移しました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、第2四半期に入っても引き続きインターネットでのチケット販売が好調に推移し、売上・利益とも大幅に伸張しております。

特にチケット販売サービスでは、引き続き、音楽・演劇・スポーツ・レジャーなど全ジャンルにおいて大型興行の販売が前期を上回るかたちで好調に推移しました。加えて、8月よりチケット販売サービス「チケットびあ」では、Webサイトにてチケットをご購入いただいたお客様を対象にした「びあポイント」サービスをスタートしております。

また、5月に業務提携契約を締結したKDDI株式会社とは、「auスマートパス」会員限定のイベントやチケット先行販売等を実施するなど、両社が展開する会員向けサービスの更なる拡充を推進しております。

以上の結果、当社グループの第2四半期の業績は、連結売上高641億20百万円(対前年同期比121.2%)、営業利益5億37百万円(対前年同期比8億64百万円良化)、経常利益5億40百万円(対前年同期比8億76百万円良化)、四半期純利益3億86百万円(対前年同期比7億38百万円良化)と大幅な増収増益となりました。

売上に貢献した主なイベントや商品は次のとおりであります。

- 「東方神起」、「SUPER JUNIOR」
- 「Animelo Summer Live 2013」
- 「ももいろクローバーZ」
- 「a-nation」、「AAA」
- 「KARA」、「Perfume」
- 「ポール・マッカートニー」 当社出資興行
- 「ウォーキング・ウィズ・ダイナソー」 当社出資興行
- 「夏びあ」（首都圏版/関西版/東海版）
- 「花火びあ」（首都圏版/関西版）
- 「秋びあ」（首都圏版/関西版/東海版）
- 「食本」シリーズ（池袋、銀座・有楽町、六本木等）
- 「氷室京介びあ」

(2)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して69億6百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末は120億76百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは61億80百万円の支出(前年同四半期は34億37百万円の支出)となりました。この主要因は、売上債権の減少が22億32百万円、仕入債務の減少が84億16百万円及び減価償却費が2億60百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは2億48百万円の支出(前年同四半期は1億79百万円の支出)となりました。この主要因は、無形固定資産の取得による支出2億48百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは4億77百万円の支出(前年同四半期は73百万円の収入)となりました。この主要因は、長期借入金の返済による支出4億1百万円及び配当金の支払による支出69百万円によるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

重要な変更等はありません。

(4)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,000,000
A種優先株式	3,000,000
B種優先株式	3,000,000
C種優先株式	3,000,000
D種優先株式	3,000,000
計	45,000,000

【発行済株式】

	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,092,913	14,092,913	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は、 100株であります。
計	14,092,913	14,092,913	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	14,092,913	-	4,239,158	-	-

(6) 【大株主の状況】

平成25年 9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
矢内廣	東京都港区	2,900	20.58
株式会社セブン&アイ・ ホールディングス	東京都千代田区二番町 8 番地 8	1,409	10.00
凸版印刷株式会社	東京都台東区台東 1 丁目 5 番 1 号	1,087	7.72
株式会社セブン&アイ・ ネットメディア	東京都千代田区二番町 8 番地 8	704	5.00
株式会社セブン - イレブン・ ジャパン	東京都千代田区二番町 8 番地 8	704	5.00
KDDI株式会社	東京都新宿区西新宿 2 丁目 3 番 2 号	617	4.38
斎藤廣一	東京都港区	576	4.09
株式会社経営共創基盤	東京都千代田区丸の内 1 丁目 9 番 2 号	481	3.42
林和男	東京都渋谷区	450	3.20
日本トラスティ・サービス信 託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海 1 丁目 8 番 1 1 号	412	2.92
計	-	9,345	66.31

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年 9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 22,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,067,000	140,670	-
単元未満株式	普通株式 3,513	-	-
発行済株式総数	14,092,913	-	-
総株主の議決権	-	140,670	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式90株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年 9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
ぴあ株式会社	東京都渋谷区東一丁目 2 番20号	22,400		22,400	0.15
計	-	22,400		22,400	0.15

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,983,045	12,076,549
受取手形及び売掛金	13,486,486	11,253,685
商品及び製品	79,958	76,869
仕掛品	895	3,482
原材料及び貯蔵品	4,151	4,444
繰延税金資産	246,167	249,136
その他	1,151,257	1,934,962
貸倒引当金	39,018	33,429
流動資産合計	33,912,944	25,565,701
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	125,712	116,974
工具、器具及び備品(純額)	130,148	125,271
土地	6,240	6,240
その他(純額)	48,818	88,674
有形固定資産合計	310,919	337,160
無形固定資産		
のれん	4,191	3,143
ソフトウェア	969,144	911,729
ソフトウェア仮勘定	79,136	116,048
その他	60,343	59,990
無形固定資産合計	1,112,815	1,090,912
投資その他の資産		
投資有価証券	396,324	395,273
敷金及び保証金	480,320	479,879
繰延税金資産	7,404	8,140
その他	591,456	577,649
貸倒引当金	327,440	351,265
投資その他の資産合計	1,148,066	1,109,677
固定資産合計	2,571,801	2,537,750
資産合計	36,484,746	28,103,451

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,683,707	18,267,430
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	725,955	597,012
未払金	1,000,490	884,650
未払法人税等	90,065	79,186
賞与引当金	169,271	117,913
返品調整引当金	303,000	279,000
その他	1,400,410	1,688,358
流動負債合計	30,472,899	22,013,550
固定負債		
長期借入金	1,024,636	752,270
退職給付引当金	90,899	100,938
役員退職慰労引当金	110,680	90,616
預り営業保証金	328,400	328,800
繰延税金負債	14,867	16,328
資産除去債務	60,706	61,078
その他	40,932	71,634
固定負債合計	1,671,123	1,421,666
負債合計	32,144,022	23,435,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,239,158	4,239,158
資本剰余金	402,670	402,670
利益剰余金	269,825	46,549
自己株式	61,363	61,377
株主資本合計	4,310,639	4,627,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,667	12,042
為替換算調整勘定	20,711	20,217
その他の包括利益累計額合計	13,043	8,175
新株予約権	-	3,142
少数株主持分	43,127	46,266
純資産合計	4,340,723	4,668,234
負債純資産合計	36,484,746	28,103,451

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	52,923,680	64,120,612
売上原価	49,101,844	58,888,980
売上総利益	3,821,836	5,231,632
返品調整引当金戻入額	350,000	303,000
返品調整引当金繰入額	268,000	279,000
差引売上総利益	3,903,836	5,255,632
販売費及び一般管理費	¹ 4,230,137	¹ 4,717,697
営業利益又は営業損失()	326,301	537,934
営業外収益		
受取利息	286	267
受取配当金	8,102	15,342
持分法による投資利益	-	12,811
その他	1,518	1,147
営業外収益合計	9,906	29,568
営業外費用		
支払利息	16,527	16,149
持分法による投資損失	552	-
保険解約損	-	7,765
その他	1,832	2,841
営業外費用合計	18,912	26,755
経常利益又は経常損失()	335,307	540,747
特別損失		
役員退職特別功労金	-	71,188
関係会社株式評価損	-	19,999
特別損失合計	-	91,188
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	335,307	449,559
法人税、住民税及び事業税	17,015	64,359
法人税等調整額	2,936	4,666
法人税等合計	14,078	59,693
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	349,386	389,865
少数株主利益	1,921	3,138
四半期純利益又は四半期純損失()	351,307	386,727

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	349,386	389,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	157	4,374
為替換算調整勘定	1,101	493
その他の包括利益合計	1,258	4,867
四半期包括利益	348,127	394,733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	350,048	391,595
少数株主に係る四半期包括利益	1,921	3,138

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	335,307	449,559
減価償却費	756,685	260,055
のれん償却額	2,047	1,047
貸倒引当金の増減額(は減少)	15,323	18,236
賞与引当金の増減額(は減少)	1,490	51,358
返品調整引当金の増減額(は減少)	82,000	24,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	9,861	10,038
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	9,277	3,625
役員退職特別功労金	-	71,188
受取利息及び受取配当金	8,388	15,609
支払利息	16,527	16,149
関係会社株式評価損	-	19,999
持分法による投資損益(は益)	552	12,811
売上債権の増減額(は増加)	3,745,543	2,232,800
たな卸資産の増減額(は増加)	20,093	209
前渡金の増減額(は増加)	268,266	543,898
仕入債務の増減額(は減少)	6,700,804	8,416,276
未払金の増減額(は減少)	189,250	65,067
前受金の増減額(は減少)	359,217	512,917
その他	545,161	474,269
小計	3,405,105	6,007,459
利息及び配当金の受取額	8,388	15,609
利息の支払額	15,347	18,533
役員退職慰労金の支払額	4,189	94,878
法人税等の支払額	21,682	75,647
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,437,936	6,180,909
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	12,410	19,159
無形固定資産の取得による支出	134,869	248,824
投資有価証券の取得による支出	23,823	-
長期前払費用の取得による支出	-	3,289
保険積立金の解約による収入	-	31,494
その他	8,843	9,115
投資活動によるキャッシュ・フロー	179,946	248,893
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	300,000	-
長期借入れによる収入	900,000	-
長期借入金の返済による支出	482,713	401,309
新株予約権の発行による収入	-	3,142
配当金の支払額	41,790	69,840
その他	1,959	9,275
財務活動によるキャッシュ・フロー	73,536	477,283
現金及び現金同等物に係る換算差額	861	590
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	3,545,208	6,906,495
現金及び現金同等物の期首残高	15,857,043	18,983,045
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 12,311,834	¹ 12,076,549

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
販売手数料	742,752千円	920,775千円
貸倒引当金繰入額	1,192	24,236
給与手当及び賞与	1,430,911	1,510,918
賞与引当金繰入額	85,595	110,596
退職給付費用	110,011	117,783
業務委託費	302,862	343,272

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	12,311,834千円	12,076,549千円
預入期間が3か月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	12,311,834	12,076,549

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月23日 定時株主総会	普通株式	42,211	3	平成24年3月31日	平成24年6月26日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月13日 定時取締役会	普通株式	70,352	5	平成25年3月31日	平成25年6月25日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額 ()	24 円 97 銭	27 円 49 銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額 () (千円)	351,307	386,727
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額 () (千円)	351,307	386,727
普通株式の期中平均株式数 (千株)	14,070	14,070
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

ぴあ株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 杉本 茂次 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田村 剛 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 孫 延生 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているぴあ株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ぴあ株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。